

JR北海道・普通列車減便等に対する 今後の取組について

1. 今後の取組について

3月26日のダイヤ改正による宗谷本線の普通列車減便について、今後の取組をお知らせします。町では、今回のJR北海道との普通列車減便等の交渉過程を踏まえると、

◎近い将来、町内の無人駅廃止

◎名寄以北の宗谷本線存続の危機

をひしひしと感じました。無人駅の廃止はもとより、稚内市をはじめとする沿線自治体でも、名寄以北の宗谷本線が存続の危機にあるとの共通認識を持っています。

3月28日に公表された、JR北海道の平成28年度事業計画においても、

・利用の少ない駅…の見直しの検討

・利用が少なく鉄道特性が十分に発揮できない線区については…、当社（JR北海道）単独で将来にわたり鉄道を維持していくことは困難

との説明がありました。

もし、町内各駅の廃止に止まらず鉄道そのものが廃止された場合、地域経済に与える影響は計り知れないほど大きなものとなるため、駅や鉄道の存続は、今、私たち一人ひとりが、あえて移動手段として鉄道を利用したり、無人駅に目を向けたり、鉄道を利用して幌延町に訪れる観光客を歓迎するおもてなしの心を持つなど、私たちの地道な取組にかかっているのかもしれない。

町でも、地域住民皆さまのご協力をいただきながら次のような取組を進めていきます。

(1) JR北海道への要望事項

①特急列車の音威子府以北快速化について

主要集落が近くに存在する無人駅に特急列車を停車してもらい、地域住民の利便性を向上させ、普通運賃で乗車できるよう名寄以北を快速化し、乗車しやすい環境となるよう要望しています。

②夏季限定観光臨時列車「宗谷ノロッコ号」運行について

稚内・音威子府間の列車本数が減り、日中の移動に不便なダイヤとなっていることから、地方創生総合戦略で掲げる交流人口獲得策のひとつとして、夏場の観光シーズンに道北の雄大な景色をゆっくりと車窓から楽しむことができる「宗谷ノロッコ号」の運行を要望します。

(2) 幌延町役場としての鉄道利用促進の取組

①町職員出張の列車利用促進

町職員が札幌などへのお出張の際、日帰りが可能な場合は、鉄道の利用を推進します。

②秘境駅ウォーキングラリー（次ページをご覧ください）

町では、鉄道系資産によるまちおこしに取組んでおり、鉄道利用促進と健康づくりを兼ねたウォーキングラリーを開催します。詳細は役場や各駅などに配置するチラシをご覧ください。

これらの取組により、駅や鉄道の存続に向けた地域全体の機運づくりに努めます。これを機に、地域の皆さまが貴重な地域資源である駅や鉄道を身近な存在として感じていただければ幸いです。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

また、鉄道利用促進・活性化に対するご意見・ご要望などがございましたら下記までご連絡ください。

問い合わせ先：住民生活課 生活環境グループ 電話01632- 5-1115（内線153）告知端末 5-8812
産業振興課 企画振興グループ 電話01632- 5-1113（内線233）告知端末 5-8814
FAX：01632- 5-2971